

# 平成28年度財務書類を作成しました

民間企業の考え方を取り入れた会計基準で皆さまに財政状況をお知らせするため、総務省より示された「総務省方式改訂モデル」を用いて財務書類4表を作成しました。

なお、本紙においては財務4表のうち「貸借対照表（バランスシート）」のみ掲載し、それ以外の財務書類は市のホームページに掲載しましたので、そちらをご覧ください。

## 貸借対照表（バランスシート）とは

地方公共団体の決算は、その年度における収入・支出の状況を表しているのに対し、貸借対照表は今までに市が建設してきた学校や福祉施設、道路、公園などの資産【市民の財産】の状況と、そのために将来負担しなければならない借入金などの負債を把握することができます。

## 普通会計バランスシート

(平成29年3月31日現在)

借方（資金の使われ方）		貸方（資金調達のされ方）	
<b>1 公共資産</b>		<b>1 固定負債</b>	
① 有形固定資産	933億 9,483万円	1年以上先に支払うもの	
庁舎、道路、公園、学校、保育園、 公民館、体育館などの土地、建物		① 地方債	223億 2,296万円
② 売却可能資産	1億 84万円	② 長期未払金	1億 1,732万円
	<b>934億9,567万円<sup>Ⓐ</sup></b>	③ 退職手当引当金	27億 2,497万円
			<b>251億6,525万円</b>
<b>2 投資等</b>		<b>2 流動負債</b>	
① 投資及び出資金	1億 7,797万円	1年以内に支払うもの	
② 基金など	82億 9,139万円	① 翌年度償還予定地方債	22億 3,956万円
③ その他	7億 3,930万円	② 未払金	8,893万円
長期延滞債権など		③ 賞与引当金	5億 5,811万円
	<b>92億866万円</b>		<b>28億8,660万円</b>
<b>3 流動資産</b>		<b>●負債合計</b>	
① 資金		<b>280億5,185万円<sup>Ⓒ</sup> (277億2,143万円)</b>	
現金や必要に応じてすぐ使える基金（預金）		<b>1 純資産</b>	
・財政調整基金	20億 139万円	すでに負担して、支払いが済んでいる資産	
・減債基金	30億 6,119万円	① 国県補助金など	153億 7,300万円
・歳計現金	13億 7,692万円	② 一般財源など	657億 8,970万円
② 未収金	7,072万円		
	<b>65億1,022万円</b>	<b>●純資産合計</b>	
<b>●資産合計</b>		<b>811億6,270万円<sup>Ⓓ</sup> (814億8,764万円)</b>	
<b>1,092億1,455万円<sup>Ⓔ</sup> (1,092億 907万円)</b>		<b>●負債・純資産合計</b>	
		<b>1,092億1,455万円<sup>Ⓔ</sup> (1,092億907万円)</b>	

- ・資産合計 1,092億1,455万円【市民1人当たり182万円（182万円）】
- ・負債合計 280億5,185万円【市民1人当たり47万円（46万円）】
- ・純資産合計 811億6,270万円【市民1人当たり135万円（136万円）】（ ）内は前年度の金額

※平成29年3月31日現在、住民基本台帳人口 60,062人

普通会計とは一般会計と仁良川地区土地区画整理事業特別会計の一部を合算したものです。

### ◇バランスシートから分かること◇

これまで下野市は、1,092億1,455万円<sup>Ⓔ</sup>の資産を形成してきました。そのうち、公共資産（学校・道路・公園など）の934億9,567万円<sup>Ⓐ</sup>が将来に引継ぐ資産になります。資産のうち、811億6,270万円<sup>Ⓓ</sup>は、これまでの世代の負担で、すでに支払いが済んでいます。残りの280億5,185万円<sup>Ⓒ</sup>を将来の世代が負担していくこととなります。